

世界を知る

2022.10.28

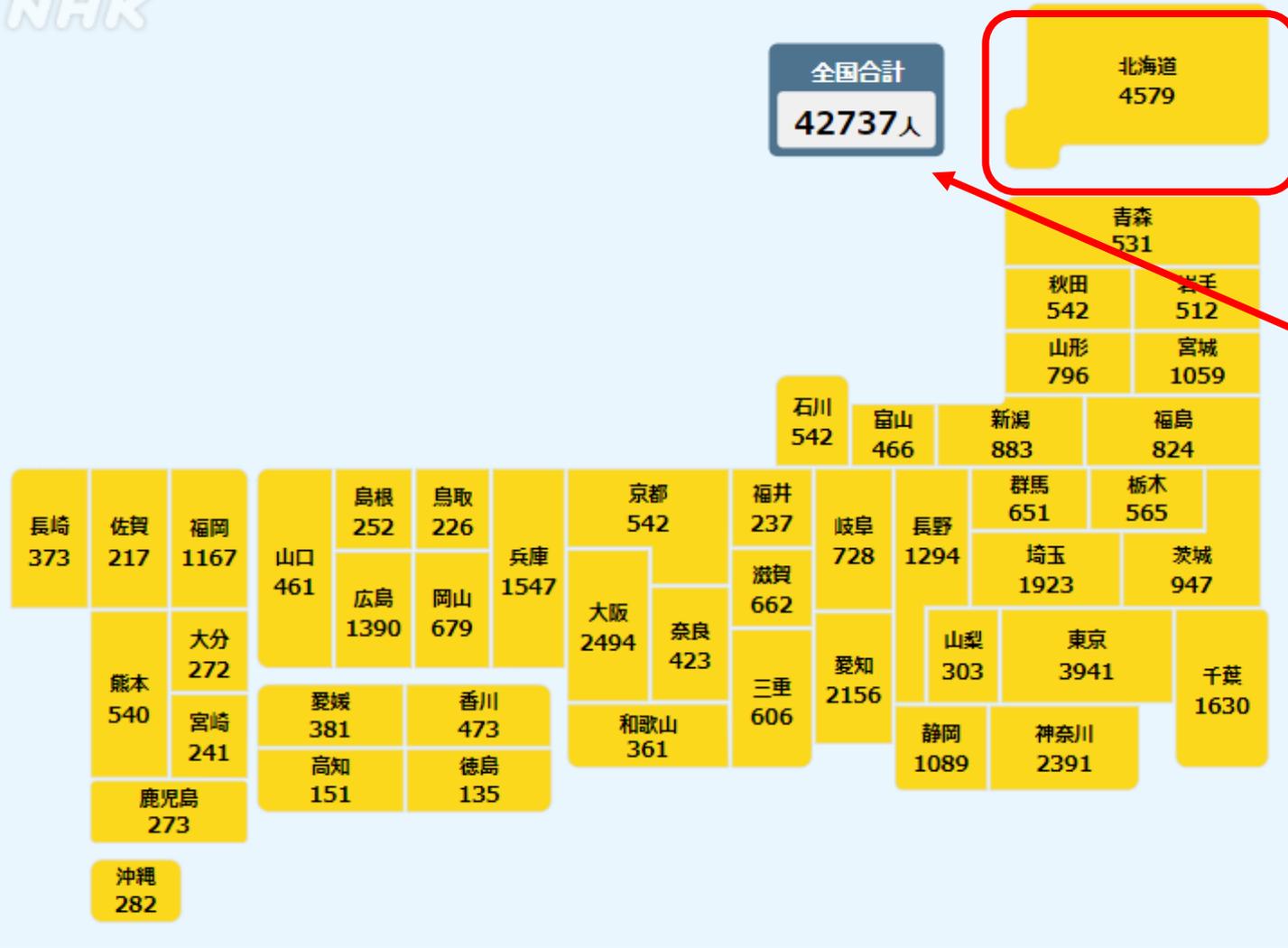
世界全体
 感染者数
6億2630万989
 死者数
657万304

世界全体
 感染者数
6億2907万976人
 死者数
658万4137人

i この地図について



感染者数 死者数



1217人増
約20%

6627人増



日本国内のワクチン接種状況

1回目 (104,267,735人) 81.4%

2回目 (102,915,057人) 80.4%

3回目 (83,157,550人) 66.0%

4回目 (39,663,285人) 先週より172.75万人増

新型コロナの新しい変異株2種

- BA5から変異を繰り返して現れた新種
- BQ.1.1 ケルベロスと命名
- 非常に感染力が強いとされている

8月にイングランドで発見

オミクロン変異株「BA.5株」の特徴

潜伏期間：平均2～4日

主な症状：咳、倦怠感、発熱ほか

鼻水が出る率が高い、症状が現れる頻度が高い

ウイルスが肺で増殖しやすい

新型コロナに以前感染した人でも再感染しやすい



国内では帰国者以外に17名の感染者が報告されている

まだ詳しい特徴は不明

- BA2から変異を繰り返して現れた新種
- 一人に同時に2種のウイルス感染しそこで変異したのではとも言われている
- XBB グリフォンと命名
- 現在シンガポール等アジアで感染拡大している
- 非常に感染力が強いとされている
- 現在BA1 BA5に対応したワクチンが接種されている
- 今回の変異種が有効かは不明



都内6名の感染判明

その他にも変異種が

■新たな変異株(国立感染症研究所から、21日時点)

系統名	初確認	特徴
BA.5	2022年2月 南アフリカ	世界で検出されるウイルスの主流。日本でも9割
BA.4.6	5月 米国	米国を中心に増加傾向
BA.2.75	6月 インド	インドで急増
BQ.1	9月 ナイジェリア	英国やフランスなど欧州で増加傾向
XBB	9月 シンガポール	異なる二つの変異株の遺伝子が混ざった「組み換え体」

- BA.4.6はアメリカで11%を占めるまで広がる
- 重症度は上がっていないが免疫度の低下は大きい

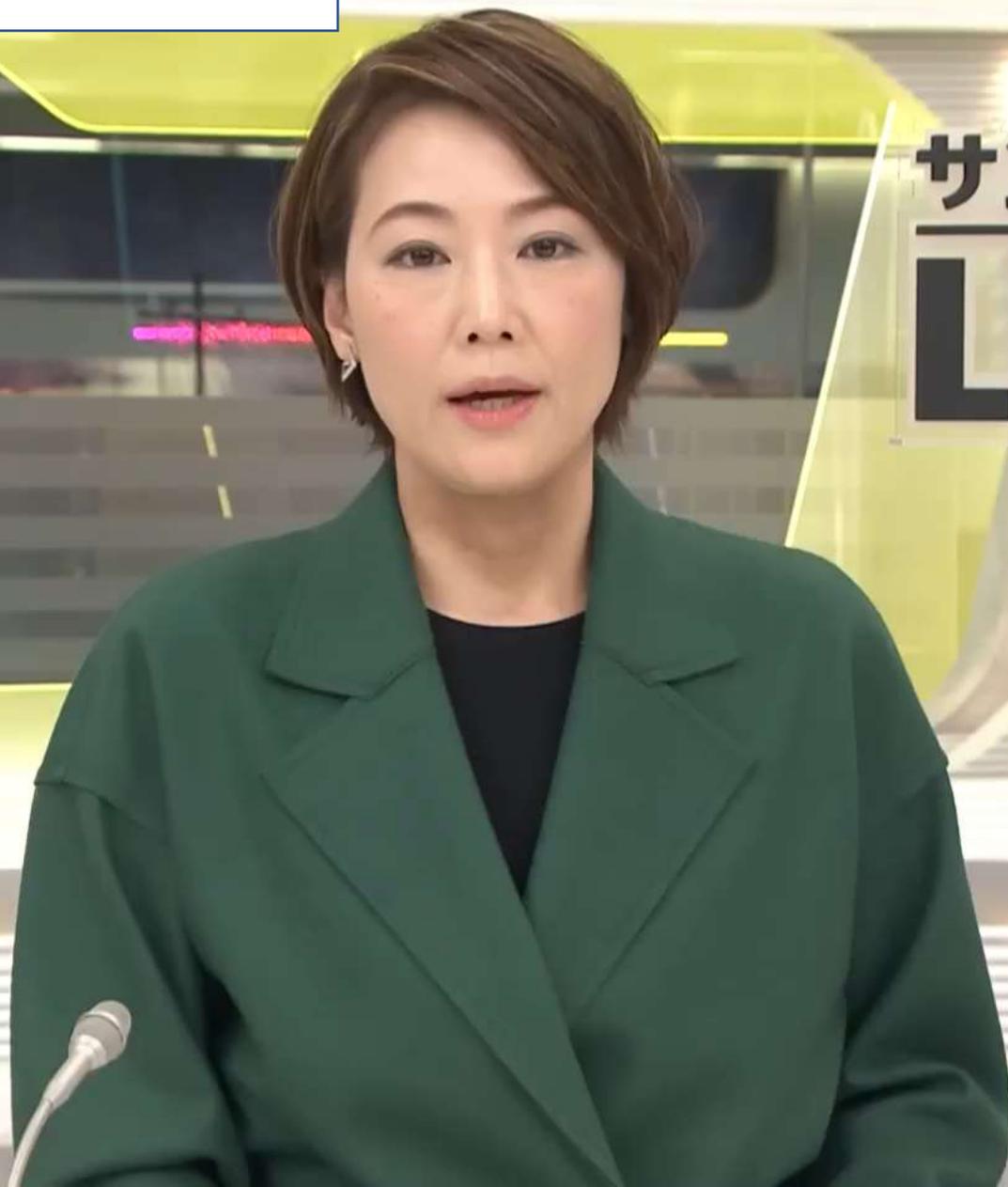
1週間を振り返って

- 10月21日 防衛相迎撃ミサイル充足率6割と発表
- 10月22日 胡錦濤前国家主席党大会閉幕式退席

胡錦濤元国家主席が途中退出

NEWS

サンデー
LIVE!!



胡錦濤前国家主席の途中退場問題

共産党人事の発表中、常務委員発表の寸前に胡錦濤前国家主席が途中退場する



国内では報道されず
海外メディアのみ胡錦濤氏の体調不良を理由にした



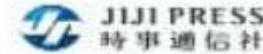
1週間を振り返って

- 10月21日 防衛相迎撃ミサイル充足率6割と発表
- 10月22日 胡錦濤前国家主席党大会閉幕式退席
- 10月23日 ロシア軍の戦闘機が墜落
- 10月24日 イギリス新首相にスナク氏が就任
- 10月25日 急な冷え込みで男体山や妙高山初冠雪
- 旧ソ連圏の受刑者がウクライナ戦線へ

旧ソ連圏受刑者「徴兵」 = トルクメン500人、ベラルーシもーロシア

昨日受刑者動員がロシア下院
で採決され了承された

2022/10/25 14:47



ロシアの独立系メディアは24日、プーチン政権に近い実業家エブゲニー・プリゴジン氏が創設した民間軍事会社「ワグネル」が、旧ソ連構成国トルクメニスタンの刑務所で「志願兵」少なくとも500人を募集し、ロシア軍が侵攻を続けるウクライナへと派遣したと伝えた。在フランスのトルクメン反体制派の話に基づいている。

プーチン政権とワグネルはこれまで、ロシア国内で恩赦や一時金と引き換えに受刑者を「徴兵」していたとされているが、旧ソ連構成国とはいえ、外国に募集範囲を広げた形となっている。

別の独立系メディアも21日、人権活動家の話として、ロシアなどで集められた受刑者2万人以上がウクライナで戦っていると報道。人数は1週間前の約1万5000人から急増しており、ベラルーシやタジキスタンなど旧ソ連構成国の刑務所での募集も影響していると伝えていた。

- ワグネルが徴兵
- トルクメニスタンで500人規模
- 恩赦や一時金と引き換え
- ロシア国内の受刑者含めて2万人以上が戦場に

1週間を振り返って

- 10月21日 防衛相迎撃ミサイル充足率6割と発表
- 10月22日 胡錦濤前国家主席党大会閉幕式退席
- 10月23日 ロシア軍の戦闘機が墜落
- 10月24日 イギリス新首相にスナク氏が就任
- 10月25日 急な冷え込みで男体山や妙高山初冠雪
- 旧ソ連圏の受刑者がウクライナ戦線へ
- 10月26日 ロシア軍が核戦力部隊の演習を行う

ロシアの核戦力部隊の演習が行われる



ス
「汚い爆弾」はフェイクだ



1週間を振り返って

- 10月21日 防衛相迎撃ミサイル充足率6割と発表
- 10月22日 胡錦濤前国家主席党大会閉幕式退席
- 10月23日 ロシア軍の戦闘機が墜落
- 10月24日 イギリス新首相にスナク氏が就任
- 10月25日 急な冷え込みで男体山や妙高山初冠雪
- 旧ソ連圏の受刑者がウクライナ戦線へ
- 10月26日 ロシア軍が核戦力部隊の演習を行う
- 北海道で鹿との接触避け自動車事故
- 10月27日 フェルメールの真珠の首飾りの少女に絵具

環境活動家たちが名画等を汚す行為が続いている。彼らは「私たちは気候変動による破局の中にいる。一点ものの絵も地球も同じ大切なもの。なぜ地球を大事にしないのか？」と問いかけるため。

ロジャー・ハラム氏が創設。ガンジーの無抵抗主義を信奉、今後活動が過激化することも考えられる。



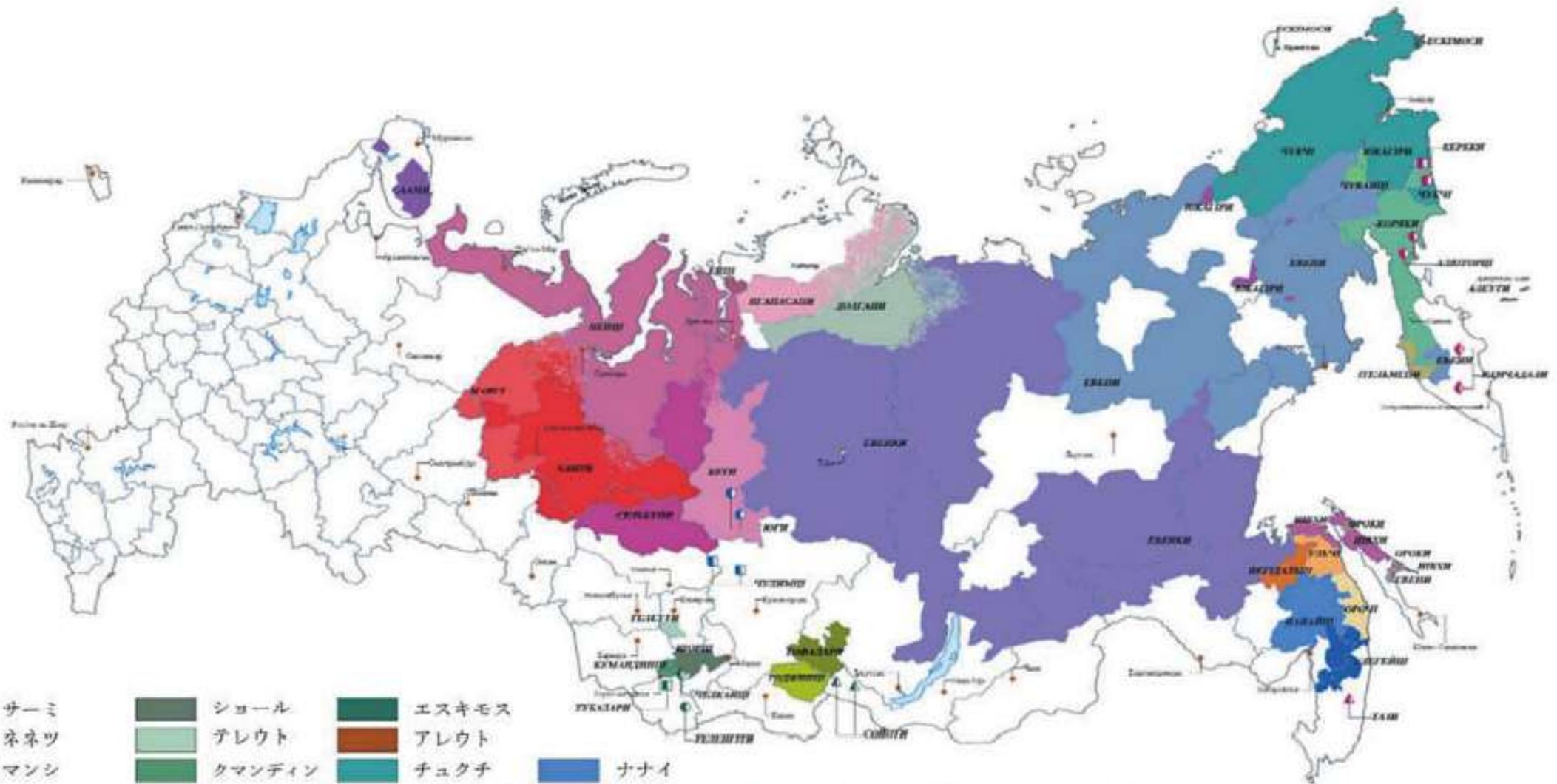
ウクライナ情勢

8:00

キャッチ!

Twitter/ @Jay_Beecher/ Kyiv Post

ロシア国内の予備役招集で問題になっている少数民族



 サーミ	 ショール	 エスキモス
 ネネツ	 テレウト	 アレウト
 マンシ	 クマンディン	 チュクチ
 ハンタイ	 トフア	 コリヤーク
 セリクブ	 ドルガン	 イテリメン
 ゲット	 エヴェンキ	 チュヴァン
 エネツ	 エヴェン	 ユカギール
 スガナサン		 ニヴ

 ナナイ	 テレンギート
 ウデヘ	 トッパ
 ネギダール	 チェルカン
 ウリチ	 ソイオート
 オロチ	 アリュートル
 ウィルタ	

 керек	ケレク
 камчадал	カムチャダーリ
 таз	ターズ
 юги	ユーギ ※政府命令第536号に記載なし。
 чулимци	チュルイム

動員兵の装備は自前



КАК ПРАВИЛЬНО СДАВАТЬСЯ В ПЛЕН

ИНСТРУКЦИЯ ДЛЯ ВСЕХ **正しく降伏する方法** ДЕРЖАВИ И БЕЛАРУСИ

КОМУ МОЖНО СДАТЬСЯ

- ✚ Вооруженным Силам Украины
- ✚ Силам территориальной обороны Украины
- ✚ Национальной полиции Украины
- ✚ Службе безопасности Украины

КАК ПРАВИЛЬНО СДАВАТЬСЯ В ПЛЕН

- 1 Отбросить в сторону оружие
- 2 Встать прямо
- 3 Поднять вверх руки или белый флаг
- 4 Прямо кричать «СДАЮСЬ!» и кодовое слово «МИЛЛИОН!»



ГРУППА ВОЕННОСЛУЖАЩИХ ИЛИ ПОДРАЗДЕЛЕНИЕ

- 1 Сложить всё оружие перед собой на достаточном расстоянии
- 2 Стрель перед военной техникой. Вся техника должна быть заглушена и быть не в боевом положении
- 3 Для уведомления украинской стороны о сложении оружия может быть отправлен переговорщик из офицерского состава без оружия и с поднятыми руками или белым флагом

! СДАВШИСЬ В ПЛЕН, НЕОБХОДИМО ВЫПОЛНИТЬ ВСЕ УКАЗАНИЯ УКРАИНСКИХ ВОЕННЫХ!

ВЕРОЛОМСТВО, СИМУЛИРОВАНИЕ НАМЕРЕНИЯ ВЕСТИ ПИ КАПИТУЛЯЦИИ ИЛИ ВЫХОДА ИЗ СТРОЯ ВСЛЕДСТВИЕ РА ДОПОЛНИТЕЛЬНОГО ПРОТОКОЛА №1 ЖЕНЕВСКОЙ КОНВ

誰に連絡？

- 1 Амнистия сдав вою
- 2 Денежная компенсация в размере 5 миллионов российских рублей
- 3 Телефонный звонок родным и близким

1人で降伏

ЖЕНЕВСКОМ УПОСЛАНИИ ОБ ОБРАЩЕНИИ С ВОЕННОПЛЕННЫМИ 1949 ГОДА

グループで降伏

- 武器を捨てる
- 白旗を掲げる
- 手をあげる
- まっすぐ立つ

● 降伏方法をWebで公開

自発的な降伏とは記録しない
送還を希望しない者は相談に応じる

● 24時間ホットライン

14日間で**2000件超**

降伏したロシア兵 4日公開



「**ロシアにいる時から**
ホットラインに電話をかけていた
方法を教えてもらっていた」

オルスク市出身 26歳

動員兵からは反発の声

ウクライナ内務省顧問

ゲラシェンコ氏のSNS(6日)より



TBS NEWS DIG



29:28 / 1:03:09



ロシア軍死傷者「9万人超」と報道 動員兵も戦地で死亡

ウクライナ侵攻

[+ フォローする](#)

2022年10月13日 22:08 (2022年10月14日 3:23更新)

【ウィーン=小川知世】ロシア南部チェリャビンスク州当局は13日、部分動員令でウクライナに派兵された5人が死亡したと明らかにした。地元メディアが報じた。英BBCによると、当局が動員兵の戦地での死亡を公に認めるのは初めて。ロシア独立系メディアは12日、侵攻に伴うロシア軍の兵力の損失が9万人超にのぼる可能性があると伝えた。

報道によると、5人は徴兵後にウクライナ東部ドンバス地方に派遣されていた。州当局は遺族に100万ルーブル（約230万円）を支払うと説明した。詳細は明らかになっていないが、9月21日の動員令発令後まもなく動員兵が実戦に投入されているとみられる。

ロシア軍の死傷者は増えている。独立系メディアは連邦保安局（FSB）の現役将校と特殊部隊の元将校の話として、死者や戦線に復帰できない負傷者、行方不明者を含めて9万人以上の人的損失が出ている可能性を報じた。ロシア国防相は9月下旬に同国軍の戦死者は5937人と主張していた。

- ロシアの報道
- 部分動員令で5人が戦死
- 遺族に100万ルーブル支給
- ある作戦では500人以上戦死と伝えられる
- 独立メディアは損失9万人超

ロシア人、9月に75億ドル引き出し 出国に際し=ロシア中銀

【モスクワ 20日 ロイター】 - ロシア中央銀行は20日、ロシア国民が9月に銀行から現金4580億ルーブル（75億ドル）を引き出し、この大部分は出国者が増加した月後半に流出したと発表した。

9月21日にプーチン大統領が「部分動員」と呼ぶものを発表後、何十万もの人々がロシアを離れた。

中銀の報告書は「人々は、例えば今年初めにそうだったように、ストレスや不確実さのある状況で現金を引き出す傾向があるが、通常はその後、銀行にお金を戻す」と指摘した。

中銀の銀行規制・分析担当のアレクサンドル・ダニロフ氏は20日のブリーフィングで現金流出について、主にエネルギー産業から総額9000億ルーブルの企業資金の流入があって相殺され、銀行部門の流動性への脅威にはならないと述べた。

- 予備役招集逃れで預金引き出し
- 出国に対して必要経費を確保のため
- 不確実なことがあると見られる現象
- 普通は預金戻る



- エネルギー資源からの利益はその倍

プーチン大統領 予備兵の訓練視察

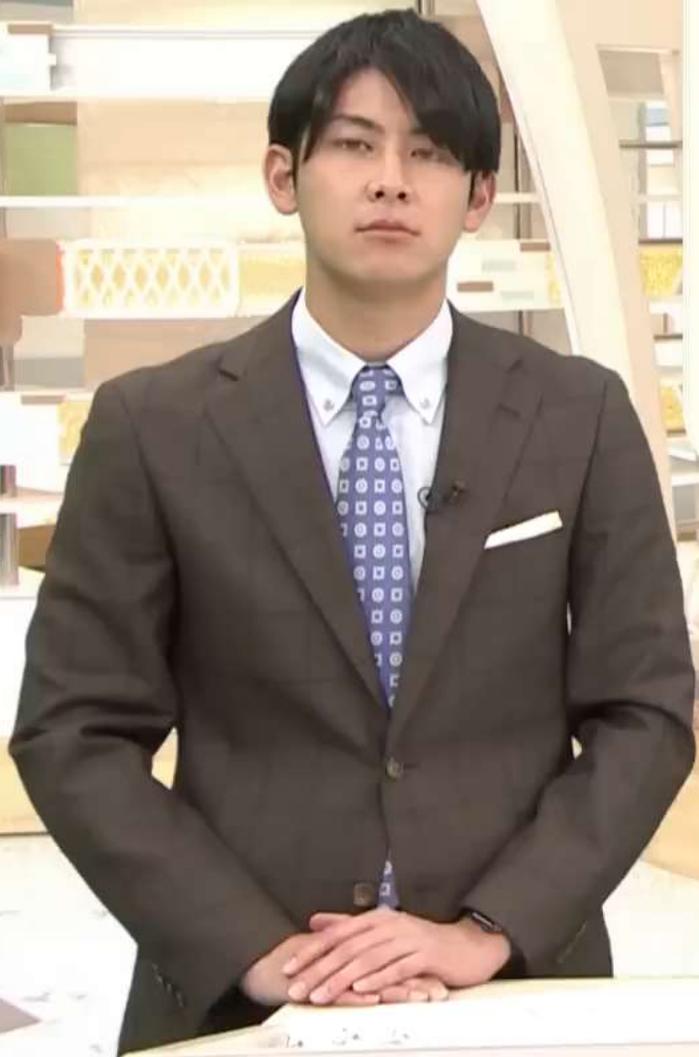
@ZVEZDANEWS

ズベズダニュースのテレグラムより

クリミア大橋爆破を口実とした報復

- 先週から連日のようにウクライナの都市に対してのミサイル・ドローン攻撃が続いている **厭戦気分生じさせる**
- 発電所や石油施設への攻撃が多い **厳冬の暖房を直撃**
- ウクライナ側も迎撃しているがすり抜けるものも多い
- ドローンはイラン製 ロシアは保持するミサイル2/3使用済
- ベラルーシにロシア軍が入ったという情報
- ベラルーシからキーウ攻撃を計画しているのか
- 今後の展開がどのようになっていくのか

ロシア イランドローン2400機購入



イラン製のドローン活躍

- 1980年代から開発開始
- アメリカ軍のドローン撃墜で得た情報を転用
- 1機あたり数10Kgの爆弾を装着
- 1機あたり約300万円 巡航ミサイル1発で1億5000万円
- 1回に数十機を発射 ウクライナ側は70%は撃墜してるというが
- ウクライナの発電所や石油タンクを目標
- ウクライナのエネルギー源を断つことを目的
- ウクライナはイランと国交断絶を検討

プーチン大統領戒厳令に署名

- プーチン大統領はウクライナ南部4州に戒厳令
- ロシア建国以来初めての戒厳令 **戦時体制への変更**
- ロシア本土は対象外 **軍が直接支配するため**
- 戒厳令によっての変化
- 住民の財産や移動の制限 身体拘束 財産差押え
- ロシア国内の動員は22.2万人で終了 **国内反発対策**
- 4州からの動員をしようとしている可能性
- ウクライナは徴兵から逃げろ、徴兵されたら戦地で投降

ロシア
プーチン大統領



速報

プーチン氏「併合」ウクライナ4州に"戒厳令"

親ロシア派 ヘルソン市民退避命令

NEWS



ウクライナ侵攻どのように終わるのか

- この戦いは何時か終息する
- どのような形で終息するのか
 - 1 ロシアの当初の目的を達して終息する
 - 2 ウクライナが自国の領土を守った状況で終息する
 - 3 お互いに譲歩して終息する
- 皆さんはどうなると思いますか？
- 現在ロシアは何時でも話し合いをする予定はあると言っている

形だけ？

現状ではウクライナは受け入れない

それぞれの場合を考えましょう

- 3 お互いに譲歩して終息する
- ロシアとウクライナの考え方に大きな相違がある
- ロシアは南東部4州の併合を強行
- クリミアと共にロシア領を拡大する
- ウクライナを中立国としてNATO・EUには不参加
- ウクライナは2月24日以前又は2014年以前の領土回復
- 戦後復興の費用をロシアに負担させる
- 強制移動させられた国民の奪還
- この考えをどう摺り合わせることができるか

唯一の可能性は停戦

現状では無理

1 ロシアの当初の目的を達して終息

- ロシアはウクライナをベラルーシ同様に支配する
- この体制をアメリカやEUは受け入れないだろう



- ロシアを中心とした覇権主義国のグループが成立
- 中国やシリア、イラン、北朝鮮など



- 東西冷戦時代に逆戻りしてしまう
- 二極が緊張した状態で時間が経過していく

世界の分断が進む

2 ウクライナが自国の領土を守った状況で終息

- 自国至上主義が崩壊 中国やイラン、北朝鮮には打撃
- 軍事制裁と経済制裁が成功したことになる
- ロシアの発言力は弱体化
- 経済力の低下によるロシアの貧困化が進行
- ロシアの国際社会での信用が無くなるので今まで援助されてきた国や地域が打撃を受ける
- プーチン後の政権を誰がどのように受け継ぐか？
- 言論の自由と自由な選挙 国連が目指していたもの

どのような形で終息しても

- ロシアが世界の経済大国から敬遠され続ける
- ウクライナの荒廃した領土をどう復興させるのか
- 衰えたロシア政権
- 萎縮するロシア社会と経済
- この中でいつロシアが国際社会に復帰できるのか
- 今後のロシア政権の動向によって差が生ずる
- アメリカ、EU、ウクライナがどう対応するのか
- 国際連合の存在意義をしっかりと示せるチャンス

プーチン氏は追い詰められている

プーチン氏、危機感あらわ「前例ない課題に直面」...軍に物資「拳国一致」要求

2022/10/27 07:58

ウクライナ情勢

 この記事をスクラップする



ロシアのプーチン
大統領

ロシアのプーチン大統領は25日、ウクライナに侵略する露軍への物資供給を円滑にするため設置した政府の「調整会議」に初参加し、地方政府を含む全機関に「広く深い連携」をするよう命じた。プーチン政権は「戦争」という言葉を使わず、「特殊軍事作戦」と称してきたが、長期戦を前提に拳国一致で軍に協力するよう求めたもので、事実上の「戦時体制」が濃厚になっている。

ウクライナ軍が反転攻勢を強める中、プーチン氏はオンラインで開かれた会議で、米欧日などによる経済制裁も念頭に「誇張ではなく、前例のない課題に直面している」と危機感をあらわにした。その上で、「現実の直視」と「迅速な対応」を重ねて求めた。ミハイル・ミシュスチン首相は、軽工業部門が総力を挙げ、軍服などの装備不足に対処し、兵器増産を支援する方針を表明した。

- 軍事物資不足
 - これをカバーするために全機関に広く深い連携を命ずる
 - 軍に一致協力
- ↓
- 戦時体制濃厚

現在のロシア状況

- プーチン氏を牽制する強硬派
- 予備役招集 ウクライナインフラ攻撃
- 併合した4州への攻撃をロシアへの攻撃とアピール



- 一般国民の生活を破壊すれば折れるはず **冬を武器**
- 総動員令に準ずる「一致協力」するよう命令を発した
- 今年春暖冬 **凍らないので泥濘地化** **ロシア軍の立て直しを狙う**
- 来春には勝利できると確信している

旧ソ連の国々がプーチン離れ

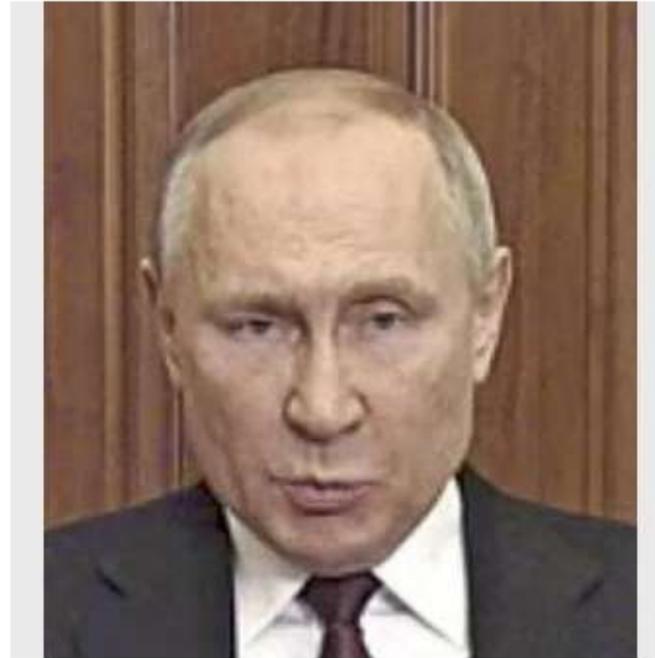
- CSTO ロシア、アルメニア、ベラルーシ、カザフスタン、キルギス、タジキスタンが加盟する集団安全保障条約
- ベラルーシ以外はプーチンと距離を取る
- 先月起きた加盟国の衝突 ロシアに介入要請 拒否
- アルメニアとアゼルバイジャン ナゴルノカラバフ関連の軍事衝突
- キルギスとタジキスタン 軍事衝突
- ウクライナへの軍隊派遣要請を断る
- ロシアとしては他国に構う余裕がない

ロシア首都で内乱鎮圧を演習

2022年10月27日 19時30分 読売新聞

ロシアのプーチン大統領ら要人の安全を守る露連邦警護局は25～27日、モスクワ中心部の大統領府や上下両院などで内乱鎮圧を想定した定期演習を行った。プーチン氏は、米欧がロシアでの政変を画策していると主張しており、警戒感を一段と強めている。

「（民主化運動を指す）『カラー革命』のシナリオは終わっていない」。プーチン氏は26日、旧ソ連構成国の情報機関トップらとのオンライン会合で持論を展開した。連邦警護局の発表によると、テロの脅威封じ込めや容疑者拘束などを訓練した。クーデターへの対処も含まれるとみられ、SNSでは装甲車両などが出動する動画が拡散している。



プーチン氏 (A P)

- 欧米が政権転覆を狙っている
- 内乱鎮圧を想定した演習を行う



- 不安感が強くなっている証拠